坪内逍遙 小説家, 劇作家, 評論家, 教育家。早稲田大学を拠点に文芸活動を指導, 先取りと献身で, 多大な影響。

つぼうちしょうよう

安政の大獄・1859 = 美濃国太田村で, 代官所付手代坪内信之の五男に生まれる。十人兄弟の末子。

桜田門外変・1860 = 1歳:

明治維新・1868 = 9歳:

戊辰戦争終・1869 = 10歳: 一家で名古屋に移住。寺子屋に入り, 貸本屋で江戸戯作類を耽読, 母に連れられ歌舞伎に通い始める。

学問のすすめ1872 = 13歳: 藩から受け継がれた県の洋学校に入学して英語を学ぶ。

明治6年政変 1873 = 14歳:

佐賀の乱・1874 = 15歳: 新設の官立愛知外国語学校に入学, 外国人教師からシェークスピアなどの講義を受ける。

三つの反乱・1876 = 17歳: 選抜生として上京。東京開成学校普通科に入学。同期生に生涯の友となる高田早苗がいた。

西南戦争・1877 = 18歳: 開成学校が東京大学と改称され, その予備門最上級に編入。

大久保暗殺・1878 = 19歳: 文学部史学哲学及び政治学科に進学, 学生間の文学熱に合せて西洋小説を濫読し始める。

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 21歳: 母が死去。『春風情話』(スコット原作)を翻訳して刊行。

明治14年政変 1881 = 22歳: 学年試験に落第したことから発奮, 英語を教えて学費を稼ぐ。

新体詩抄・1882 = 23歳: 父が死去。『新聞に政治的戯文を連載。西洋文学への関心をたかめるうちに, 東西の小説観の落差を自覚。

岩倉具視没・1883 = 24歳: 東大政治学理財学科を卒業, 高田早苗の勧めで前年創立の東京専門学校(早稲田大学)の講師になる。

秩父事件・1884 = 25歳: シェークスピアの翻訳を刊行, 序文に逍遙の号を用いる。

内閣発足・1885 = 26歳: 『小説神髓』を発表, 写実主義小説の路線を設定し, 文学の自律性を説いた。その応用編『当世書生氣質』,

帝国大学始・1886 = 27歳: 『新磨妹と背かゞみ』『内地雑居未来の夢』などの作品を公にする。同郷の二葉亭四迷が来訪, 以後その活動を

援助するとともに影響を受ける。遊郭出のセンと結婚, 賢夫人とされるが, 実はヒステリーの性格で, その

ため, 体調をくずして創作も不調になって行くとともに, 山田美妙の出現にもショックを受け,

『細君』を最後に小説の筆を折り, 読売新聞社に文学主筆として入社。

帝国憲法発布 1889 = 30歳: 東京専門学校に文学科を創設, 学生の活動を指導。近松の研究を始めて『読売新聞』を舞台に執筆再開。

帝国議会始・1890 = 31歳: 足尾鉾毒始・1891 = 32歳: 『早稲田文学会を組織, 機関誌『早稲田文学』を創刊して後進の育成につとめる。『しがらみ草紙』による森鷗

外との間に交わされた『没理想論争』は, 近代最初の本格的な文学論争として知られている。

郡司千島探検 1893 = 34歳: 土行を嗣養子とする。

日清戦争始・1894 = 35歳: 『伝統演劇の改良に新たな活動の舞台を求め, 『桐一葉』を連載。舞踊や劇の稽古を始める。

日清戦争終・1895 = 36歳:

白馬会・1896 = 37歳: 戯曲『牧の方』を発表。創立された早稲田中学校の教頭になり, 倫理教育に情熱を注ぐ。

八幡製鉄始・1897 = 38歳: 戯曲『沓手鳥孤城落月』を発表する一方, 高山樗牛と史劇論をたたかわせたりした。

Bushidou・1899 = 40歳: 神経衰弱甚だしく, 以後不眠症。睡眠薬常用となる。『文学博士』

ピア/国産化・1900 = 41歳: 編纂に従事していた小学校用『国語読本』が刊行され, 大きな反響。

教科書疑獄・1902 = 43歳: 早稲田中学の校長に就任するが,

日比谷公園・1903 = 44歳: 健康を害して辞任。

日露戦争始・1904 = 45歳: 期待していた甥が戦死。『桐一葉』が初演。『新楽論』『新曲浦島』を発表, 新舞踊劇を提唱。

日露戦争終・1905 = 46歳: くにを養女とする。

満鉄発足・1906 = 47歳: 島村抱月を支援して文芸協会を設立, シェークスピア, イブセンなどを紹介して新劇運動の基礎を築く。

韓国反日暴動 1907 = 48歳: 帝国学士院会員を辞退。

伊藤博文暗殺 1909 = 50歳: この年, 二葉亭四迷が死去。『演劇研究所』が落成, 新劇運動の拠点になる。『ハムレット』を翻訳, 刊行。

大逆事件判決 1911 = 52歳: 『自ら文芸協会会長になって責任を担う。『ハムレット』の公演が成功。以後, シェークスピア, イブセンの劇を次々上演していずれも好評となるが,

明治天皇没・1912 = 53歳:

大正政変・1913 = 54歳: 抱月と松井須磨子の恋愛問題文芸協会が解散するに至り, 演劇改良運動から引退。

21ヶ条要求・1915 = 56歳: 高田早苗の文部大臣就任に伴い, 早稲田大学教授を辞任。

民本主義・1916 = 57歳: 文芸協会の負債をすべて処理し, 膨大な錦絵を購入し, その整理研究に着手。

ロシア革命・1917 = 58歳: 文芸協会解散のいきさつを投影した戯曲『役の行者』を刊行。

本格政党内閣 1918 = 59歳: 早稲田大学の紛争で, 学長就任を懇請されるが固辞。島村抱月が死去。『名残の星月夜』『義時の最期』を刊行

『牧の方』に続く史劇三部作が完結。

ハルビン条約・1919 = 60歳: 松井須磨子が自殺。土行との縁組も解消。

大暴落・1920 = 61歳: 歌舞伎を指導するが理解得られず手を引く。くにが別世界の人に嫁ぎ, 期待した後継者が殆どいなくなる。

早稲田大学内に文化事業研究会を設立, 朗読法の指導にあたる。

原敬首相暗殺 1921 = 62歳: ページェントを提唱して試演。児童劇運動に着手。

水平社結成・1922 = 63歳:

関東大震災・1923 = 64歳: 蔵書一切を早稲田大学図書館に寄贈。

治安維持法・1925 = 66歳: 肺炎で一時危篤になるが, 全快。

円本時代始・1926 = 67歳: 創作や寄稿を断って, シェークスピアの翻訳に専念することを決意。『沙翁全集』『逍遙選集』を刊行。

共産党事件・1928 = 69歳: 『沙翁全集』全40巻が完成。『逍遙選集』の印税をあてた早稲田大学構内に坪内博士記念演劇博物館が落成。

海軍軍縮条約 1930 = 71歳: 日本シェークスピア協会が発足し, 名譽会長。演劇博物館を支援する財団を設立, 自らの財産を寄附。

満州事変・1931 = 72歳: 財団のために雑誌を創刊して, 自ら精力的に筆をとる。

国際連盟脱退 1933 = 74歳: 『ライフワークのシェークスピア全集改訂を志し, 『新修シェークスピア全集』全40巻の刊行を開始, 以後, 死の直前までその改訂につとめて,

芥川直木賞始 1935 = 76歳: 没した。

新潮日本文学アルバム, 『この人どんな人』, 『没年日本史人物事典』, 平凡社百科事典, 山田風太郎『人間臨終図巻』, 『目でみる日本人物百科』,